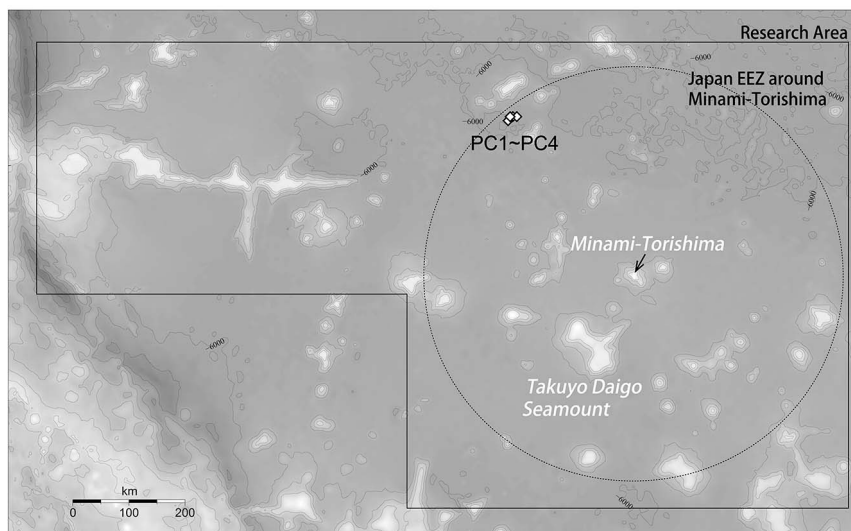
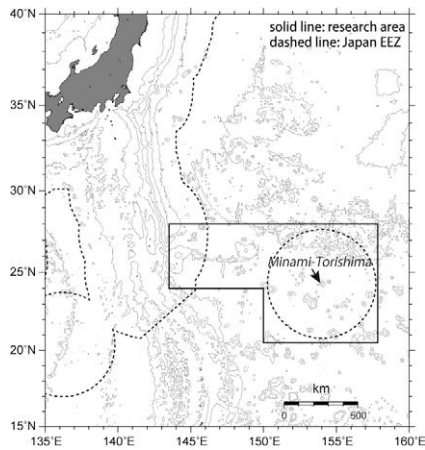


提出日：平成 26 年 5 月 9 日

## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- 航海番号：KR14-02
- 船舶名：かいいい
- 航海名称：南鳥島東方～南方海域における本邦 EEZ 内「レアアース泥」広域探査
- 首席研究者：飯島耕一 [JAMSTEC]
- 課題代表研究者：飯島耕一 [JAMSTEC]
- 航海期間：2014 年 1 月 22 日～2014 年 2 月 5 日
- 出港地～寄港地～帰港地の情報：サイパン～横須賀
- 調査海域名：南鳥島周辺



## 2. 実施内容

### ● 目的

南東太平洋から中央太平洋の広い範囲には、高濃度のレアアースを含有した「レアアース泥」が分布している。2013年1月の「かいいい」KR13-02 航海で実施した南鳥島南方海域でのレアアース泥調査航海において、高濃度のレアアース泥が海底下の浅部に分布していることを発見した（平成 25 年 3 月 21 日、東大と共同でプレスリリース）。また、2013年12月の「みらい」MR13-E02 leg2 航海では南鳥島北方から東方域にかけて調査を実施し、広域のサブボトムプロファイラーのデータを得た。

これらの成果を踏まえて、本航海では、南鳥島東方域および KR13-02 航海で高濃度レアアース泥が発見された南鳥島南方海域において、(1) 船上音響探査：サブボトムプロファイラー（SBP）によるレアアース泥出現深度およびマルチビーム測深機（MBES）によるマンガンノジュール分布域の推定を行うと共に、(2) ピストンコアラーおよびグラビティコアラーによるレアアース泥の集中的サンプリングを実施することを目的とした。

### ● 結果

海況不良により、当初の目的である南鳥島南方における船上音響調査はごくわずかに実施できたのみで、コアの採取は全くできなかった。そのため、南鳥島北西域に別の調査地点を設定して音響調査を実施し、4 地点で 4 本の堆積物コアを採取した。

調査結果の詳細は未公表。